

# 第2学年「総合」前期 単元計画

## 単元の目標

職場体験学習を通して、社会人として通用できる知識・技能を身に付け、主体的、協働的、創造的に取り組む態度を育て、社会人として自らを高めようとする自己形成力を高めるとともに、職場体験でお世話になった事業所へのお礼を形にする活動を通して、地域の役に立とうとする社会貢献力を育むことができる。

## 育てたい資質・能力及び態度における評価規準

資質・能力及び態度			評価規準
知識	知識・技能	知	①働くことの意義や意味を理解することができる。 ②社会人として必要なマナー・スキル（技能として）を身に付けることができる。
スキル	思考力・判断力・表現力	思	①事業所を決定し、2つのミッションを達成するために必要な情報を収集するための計画を立てることができる。 ②事前打ち合わせの結果を踏まえ、自ら判断・決定により、職場体験における決意と目標を設定することができる。 ③事業所のお礼を実行するための行動計画を立てることができる。 ④相手に伝えたい内容を精選し、分かりやすく伝える工夫をしている。
意欲態度	主体的に学ぶ力	主	①自ら職場体験に向けての展望や決意を持つことができる。 ②自ら「働くこと」についての課題を見だし、課題解決の方法を考えようとしている。
価値観倫理観	他者とかかわる力	他	①「働くこと」について考えるために、事業所の方やゲストティーチャーと意見交流ができています。 ②「働くこと」についての課題や成果を他者と共有することができる。 ③グループで協力して目標や計画をたてることができる。
	社会貢献力	社	①「働くこと」について学んだことを地域や事業所に返すことができる。
	自己形成力	自	①「働くこと」についての課題解決に向けて、前向きにチャレンジしている。 ②単元を振り返り、「働くこと」とはどういうことか考えることができる。

## 単元と評価の計画

### 1 年間の指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	「働くことと向き合おう」 (58時間)						「自分の進路と向き合おう」 (12時間)					
	地域理解・社会貢献						自己探究					

### 2 単元と評価の計画

小単元名	学習過程	時数	学習内容 学習活動	評価規準 (評価方法)	教科との関連
働くことと向き合おう	情報の収集	1	○「働くこと」について交流する。 ・単元ガイダンスでねらいを知り、学習への見通しを持つ。 (1) ・1年生での職業調べのまとめを用いて、「働くこと」に対する自分の捉えを見つめ直す。(2) ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分にとって「働くこと」とはどういうことだろう</span>	【自-②】 (行動観察) (自己評価表)	
		2			
		3			
		4	○いろいろな人から「働くこと」について話を聞く。 ・ゲストティーチャーの方や、保護者の方の「働くということ」について話を聞き取り、「働くこと」の意義や厳しさを自分の捉えと比較しながら聞き、自らの考えを深める。 (2)	【知-①】 (行動観察) (自己評価表)	
		5			

⇔国語  
メモをとって話を聞く

課題の設定	6 7	○学習のゴールを設定する。 ・【Mission1】【Mission2】について確認し、個々における追究課題を考える。(2) ⇒職場体験に向け、自分が身に付けなければいけないものや準備しておくべきことは何だろう。	【主-①】 (行動観察) (自己評価表)	
情報の収集	8 ～ 15	○決定した事業所と働くための事前準備を行う。 ・職場体験活動の目標や計画を立て、事前訪問を行う。 ①マナー教室を通して、接遇の基本を身に付ける。(2) ②自己PRを考え面談(面接)の練習をする。(2) ③事業所を決定し、事前打ち合わせの準備をする。(4)	【他-①】 (行動観察) (自己評価表) 【知-②】 【思-①④】 (行動観察) (自己評価表)	⇔体育 集団行動 ・あいさつ ・礼 ・声の大きさ ⇔国語 敬語を使う
課題の整理・分析	16 17	○事前打ち合わせを行い、打ち合わせの内容を整理し、職場体験に向けた準備を行う。 ・2つの視点で学習すべきことを整理する。(2) ①職場体験でどのような力を付けたいのか、どのような目標を持って職場体験に臨むのか再度整理する。 ②職場体験後に、自分たちなりの方法でお世話になった事業所へ形ある恩返しを計画・実行するが、それを想定したうえで、職場体験中にどんなところに意識を持って取り組むか、どういうポイントを日々の体験の中で観察していくかの視点や見通しを整理する。 ⇒職場体験で自分が本当に学ぶべきこと、身に付けるべきものは何だろう。 ⇒どんな視点で、職場体験を行えば、よりよい体験のまとめができるだろうか。また、事業所の役に立つことができるだろうか。	【思-②】 【主-②】 (行動観察) (自己評価表)	⇔理科 道具や実験方法を考える (準備の段取りや計画性)
情報の収集 ①	18 ～ 42	○職場体験を通じて、「働くこと」について情報を集める。 ・準備してきたことを職場体験で発揮する。(25) ※【Mission1】における実行 ※【Mission2】における情報の収集	【自-①】 (行動観察) (自己評価表)	⇔保健 人との関わりと自分らしさ ・社会性 ・中学生期における人との関わり方
整理・分析	43 44	○職場体験から学んだことを整理し、分析する。 ・職場体験を振り返り、ワークシートにまとめを記入する。また、事前・事後の意識調査を行う。(1) ・意識調査の内容を交流する。礼状を作成する。(1)	【他-③】 (行動観察) (自己評価表)	⇔理科 実験結果から考察し、まとめを行う
まとめ・創造・表現	45 ～ 55	○体験活動で学んだことを表現する。(【Mission2】の実行) ・自分たちが体験した職場で役に立つものをつくる。(6) ・班・クラスで作成した制作物等を発表し、交流する。(1) ○制作物について交流し、より良いものを作る。 ・自分の発表に対する評価シートを基にしたり、他の人の制作物等の良い点を参考にしたりして、制作物の改善点を考え、修正する。(3) ⇒何かお世話になった事業所の役に立ちたい。	【思-②】 (行動観察) (自己評価表) 【他-②】 (行動観察) (他者評価表)	⇔国語 学習したことを自分の言葉で表現する ⇔技術 作品を相互評価し、改善する
実行②	56 57	○学んだことを活かし地域に返す。 ・作成した制作物を、お世話になった事業所に届け、掲示してもらおう。また、考えたゲームなどの提案を実行する。(2)	【社-①】 (制作物) (自己評価表)	
振り返り	58	○単元を通して学んだことを振り返る。 ・制作物の評価をもとに振り返りを行い、次年度につながるようまとめを行う。(1)	【自-②】 (自己評価表)	

